

学童保育における動画視聴の考え方と目的

当施設では、児童が安心して楽しく過ごせるよう、さまざまな活動を提供しています。その中で、適切なルールのもとで動画視聴を許可する理由は以下のとおりです。

1. 学習や創造活動の補助として活用

- 動画は、視覚的に分かりやすく情報を伝えることができ、**学習のサポートや創造活動の参考**として役立ちます。
- 例: 工作や実験の手順を動画で確認することで、理解が深まり、実際の活動に生かされます。
- 例: 体操やダンスの動画を見ながら体を動かすことで、楽しみながら運動ができます。

2. 児童同士の交流や協調性を育む機会として

- 視聴する動画を皆で話し合って決めることで、意見を出し合い、協力する力が育ちます。
- 視聴後に感想を共有することで、コミュニケーションの機会が生まれます。

3. 休憩時間のリラックスとしての活用

- 児童が一日を通して適度にリラックスできる時間を確保するために、休憩の一環として短時間の視聴を認めています。
- 長時間の視聴は避け、適切なルールのもとで制限を設けています。

4. 端末の適切な使い方を学ぶ機会として

- 現代では、インターネットや動画を活用する機会が多くなっています。そのため、**動画視聴のルールを学ぶことも大切な教育の一環**と考えています。
- 施設では、暴力的なものや不適切な内容の動画は見ない・広告や誘導リンクには注意するなど、正しい使い方を指導します。

🔗 施設としてのスタンス

無制限な動画視聴は許可しませんが、適切なルールのもとで視聴することで、児童の学びや交流の機会につながると考えています。

動画視聴についてご不安がある場合は、ぜひご相談ください。

当施設での動画視聴のルール

当施設では、児童が健やかに過ごし、適切な学びや遊びの機会を持てるよう、動画視聴に関して以下のルールを定めています。

1. 目的を持った視聴

動画の視聴は、学習や活動の一環として目的を持って行う場合に限ります。以下のような場合に視聴を許可します。

- 学習に役立つ動画(調べ学習や課題の補助となるもの)
- 施設が企画するイベントや活動に関連する動画(工作や体操の参考など)
- 皆で楽しむことを目的とした短時間の視聴(アニメの一部、ダンス動画など)

2. 皆で話し合い、視聴する動画を決める

- 皆で一緒に視聴するため、どの動画を見るかは話し合いで決めることを基本とします。
- 一人の意見だけではなく、多数の児童が楽しめる動画を選ぶことを大切にします。
- どうしても希望する動画が見られない場合は、次の機会に回すなど、譲り合いの気持ちを持って決めます。

3. 時間を守れば好きな動画も視聴可能

- 休憩時間などに、時間を守れば好きな動画を視聴することも可能です。
- ただし、機器を独占せず、モニターやプロジェクターを使用して、皆で視聴することが基本となります。
- 個人がイヤホンを使用しての視聴や、端末を独り占めすることはできません。

4. 視聴時間の制限

- 動画の視聴時間は1回25分以内とし、連続して長時間視聴することはできません。
- 他の活動とのバランスを取りながら、適切に視聴時間を管理します。

5. 職員による内容チェック

- 職員は視聴する動画の内容を確認し、プロモーション(広告を含む動画)や暴力的な内容など、不適切と判断されるものは制限または中止します。
- 必要に応じて児童に指導を行い、適切な視聴ができるよう促します。

6. ルールを守らない場合の対応

- ルールを守らずに動画を見続けたり、他の児童の視聴を妨げる行為があった場合は、視聴を制限または禁止することがあります。
- 必要に応じて保護者へ報告し、対応を相談します。

このルールを守り、動画視聴を有意義なものにしましょう。

当施設で禁止する不適切な動画の例

当施設では、児童が安心して楽しく過ごせるよう、視聴する動画の内容についても配慮しています。以下のような動画は、学童保育での視聴には適していないため、視聴を制限または禁止する場合があります。

1. 暴力的・攻撃的な内容

- 過度な戦闘シーンや流血表現を含む動画（例：戦闘アニメ・ゲーム実況などで流血シーンが強調されるもの）
- 相手を攻撃・批判する内容（例：他者を見下したり、からかったりする企画やレビュー動画）
- 怖すぎるホラー動画（例：驚かせる演出や不気味な映像が含まれるもの）

2. 言葉遣いやマナーに問題がある動画

- 乱暴な言葉遣いや暴言が目立つ動画（例：「バカ」「〇ね」などの言葉が頻繁に出るもの）
- 悪ふざけが過ぎる企画や迷惑行為（例：他人にいたづらを仕掛けて驚かせる、騙す内容）
- 下品な表現が多い動画（例：トイレや排泄を題材にしたもの、過度にふざけた言動）

3. 商業的・意図的に再生数を稼ぐ内容

- 商品を過度に宣伝する動画（例：おもちゃやゲームを購入させることを目的としたレビュー動画）
- 明らかに再生数を稼ぐことを目的とした動画（例：「〇〇を1万回やってみた！」「〇時間耐久〇〇」など、特に意味のない長時間の動画）
- 過度な課金やギャンブル的要素を含む動画（例：「〇万円課金してガチャを回した！」など、子どもに過剰な消費を促す内容）

4. 依存性が高く、視聴が止められなくなる動画

- YouTube Shorts や TikTok の短い動画を次々に見続けるもの（短時間でも延々と視聴してしまうリスクがあります）

- ・ 終わりのないストーリーの動画(例:区切りがなく、次々と続いてしまうシリーズもの)

5. 児童にとって不適切な社会問題系の動画

- ・ 暴力事件・犯罪・事故のニュース映像(不安を与える内容)
- ・ 極端な意見や偏った考えを押し付ける動画(特定の価値観を強要するもの)
- ・ 根拠のない情報や誤解を生む動画(陰謀論、フェイクニュース)

6. 差別的・多様性を否定する内容

- ・ 特定の国籍・文化・性別・障がいなどをき否定したり、からかったりする動画
- ・ 人種や宗教に対する差別的な発言や固定観念を強める動画
- ・ 「〇〇はこうあるべき」といった極端な価値観を押し付ける動画(例:「男の子はこうしなければならない」「女の子はこうすべき」などの偏った主張)

7. ゴシップ・芸能スキャンダルを扱う動画

- ・ 芸能人や有名人の私生活を詮索する動画(例:「〇〇の熱愛発覚！」など)
- ・ 根拠のない噂や誹謗中傷を含む動画(例:「〇〇が炎上!」「〇〇が引退する理由とは?」などの憶測を含むもの)
- ・ 芸能スキャンダルをセンセーショナルに扱う動画(例:週刊誌的なゴシップを煽る内容)
- ・

当施設で推奨する動画の例

当施設では、児童が楽しく学びながら過ごせるよう、動画を積極的に活用し、学びや交流のきっかけをつくることを推奨しています。以下のような動画は、子どもたちの興味や好奇心を育み、新しい発見につながるため、視聴を推奨しています。

1. 学習や創造活動に役立つ動画

- 工作・実験・手作り体験(折り紙、科学実験、DIY、簡単な料理など)
- 体操・ダンス・スポーツの練習(ラジオ体操、ストレッチ、運動遊び)
- 🌀 知育・脳トレ(パズル、ひらがな・カタカナ・英語の学習)

2. 世界や日本の文化・風習を学べる動画

- 🌐 世界の国々の文化やお祭り(さまざまな国の食べ物、伝統衣装、年中行事)
- 🇯🇵 日本の伝統文化(茶道・華道・和楽器・日本の昔話や行事)
- 🏠 地域ごとの暮らしや言葉(方言、郷土料理、風習の違い)

3. 自然や動物に関する動画

- 🐾 動物の生態や成長の様子(動物の赤ちゃん、昆虫や鳥の観察、野生動物のドキュメンタリー)
- 🌿 自然の不思議や環境問題(四季の変化、森や海の生態系、地球環境について学ぶ内容)

4. 皆で楽しみながら学べる動画

- 📖 絵本の読み聞かせや物語の紹介(日本や世界の昔話・名作童話)
- 🎵 音楽・合唱・楽器演奏(みんなで歌える童謡・世界の音楽)
- 🎬 やさしいストーリーのアニメや短編映画(暴力的・攻撃的な表現がないもの)

👉 子どもたちの「知りたい！」を大切に、動画を通じて新しい世界に触れる機会を増やしていきます！

🗣️ 興味のあるテーマがあれば、ぜひ職員に相談してください。一緒に楽しく学びましょう！